

アイヌは日本の原住民で日本人と違う。アイヌはアメリカにおけるアメリカインディアンにちょっと当たる。今、アイヌ人はほとんど北海道に住んでいる。

アイヌは自分の文化がある。例えば、女の人には若い時に口の回りに入れ墨をする。男の人はひげを全然そらない。入れ墨やひげは大人になったという象徴だ。伝統的な服装もある。例えば、アッタスという服装だ。アッタスの模様(もよう)の目的が悪霊から守ることだ。伝統的にアイヌはおもに狩猟採集民の生活だが、ちょっと耕作もする。

日本の食文化と違って生ものを食べない。アイヌの食文化は肉や魚や野菜などをゆでたり焼いたりして食べる。肉は馬、牛、熊、鹿を食べる。昔、熊や鹿を狩った。魚は鮭を特に釣って食べる。作物は少ないが、キビや小麦やまめを耕作する。

肉や魚でスープをよく作る。例えば、アイヌの一番人気の料理は「オハ」というスープだ。オハスープは肉をゆでて色々な野菜も入れてゆでて、もっと美味しくなるために動物性油脂や塩など色々なスパイスも入れる。日本の料理と違って大豆(だいず)を全然使わない。

アイヌの宗教は神道のようにたくさんの神様を信じている。動物の中に神、アイヌ語でカムイ、がいることを信じて物事の中に霊があることも信じている。

アイヌの宗教によって動物はカムイの具現で食べ物や毛皮のために動物はカムイから人間に与えるものだ。例えば、くまは山のカムイで山のカムイは人間にくまを与える。くまは特別ですから山のカムイを天国に帰すために、アイヌはくまの子をアイヌ人のようによく育て2歳ぐらいの時にいけにえにする。この宗教儀式(ぎしき)はイオマンテと呼ばれる。

アイヌ語と日本語は違う。例えば、山はアイヌ語でヌプリや水はワッカや小さい

はポンなどだ。例えば、英語やフランス語やスペイン語などがラティン語から作られたけれども、アイヌ語は他の言語と関係がない。そのためアイヌ語は本当に特別だ。昔、日本の政府がアイヌ語を禁止にしていたから、今は禁止していなくてもアイヌ語をぺらぺらに話せる人はほとんどいない。

アイヌは縄文の文化を受け継いだ。縄文は日本の原住民で朝鮮半島を通過して日本に行き着いた。1200年ごろ現れた。

アイヌの文化が始まった理由は諸説あるが、一番有力な説ははさつもん文化とオホーツク文化が融合したことだと言われている。

さつもん文化とオホーツク文化は縄文時代の縄文文化から受け継いだ。

1300年代に日本人との交流が始まって、徳川時代に日本人とよく貿易した。その時、日本人が様々な病気をもたらした。例えば、天然病やはしかやコレラなどだ。いい生活がなかなかできませんでしたので色々な抵抗が起こした。1400年に抵抗が強くなった。1550年に平和ができたが、1669年に有名なシャクシャインの抵抗が起こした。Regional dispute over hunting and fishing rightsのために起こした。でも、松前藩が勝利した。

日本人は北海道に移住始めた時、アイヌの土地を占領した。1871年に日本政府がアイヌの文化や言語を禁止していた。その上、日本人に強制労働させられた。アイヌの生活の質は思うように向上していなかった。その理由で、アイヌの民族は減少(げんじょう)どんどんほとんどいなくなってしまうた。

アイヌ人は社会で差別を受けず生活するために、日本人と結婚し、また、アイヌ人であることをかくした。そのたに今は純粋(じゅんすい)なアイヌ人がいない。でも、近年アイヌ人の生活の質は少しよくなってきた。1898年にHokkaido Former

Aborigines Protection Actという議案が通過した。アイヌ人の生活をよりよいものにし  
たり、文化や言語を保護したり、その上アイヌがいるという意識を広めるために、  
1946年に北海道アイヌ協会（きょうかい）が作られた。1994年、国会にかやのしげろ  
という初めのアイヌ人が入った。1997年にしげろさんは1871年のアイヌの文化や言語  
が禁止の法律を消した。2008年に政府はアイヌは原住民であることを認めた。その場  
合はアイヌ人である人はアイヌ人であることを認め始まった。この場合が続ければ、多  
分近未来にアイヌの差別がなくなっていく。